

地域産業創造委員会計画

委員長 草間 竜也
副委員長 東條 栄二
幹事 水口 英昭

【基本方針】

地方の時代といわれている中、各地でその地域独自の特色を活かした「地域おこし」が活発に展開され、地域としての生き残りをかけた運動が必須な時代となっています。上越の風土が生み出す多彩な食文化や農業は将来的に多くの可能性を秘めている反面、それらを地域資源として外貨獲得や交流人口増加へと繋がる地域おこしに充分活用できていないのが現状です。我々 J A Y C E E が率先して食文化の創造や農業の可能性について探求とチャレンジをし、この上越の継続的な地域産業の創造、魅力の発信が必要です。

この地域に数多くある地域資源を地域おこしに繋げていく為に、食や農業をきっかけとした新たな地域資源を創造・発信する事、上杉謙信をバックストーリーとした謙信勝負飯を地域ブランドとして根付かせる事の二つを中心に一年間活動します。まず、上越 J C だから出来る様々な団体や企業との連携で地域を活性化する新たな地域資源を創造し、それらを有効な媒体を使い地域外へわかりやすく発信することで食文化をきっかけとした外貨獲得・交流人口増加に結び付ける為の活動をします。そして地方都市としては有数の広域交通ネットワークが整備されながらも、活かしきれていない上越の現状をあらためて認識し、市民や行政が一体となり地道に地域おこしに取り組むことが上越の可能性を導きだし、外貨獲得や人口増加による上越の未来に繋がると広く市民に提示します。また、上越 J C が中心となり昨年発足した謙信勝負飯の協議会をより確かなものとし、勝負飯が地域ブランドとして根付く活動を行います。そしてそれらの新たな地域資源、歴史的背景を有する食文化や農業、地域ブランドを他団体の協力も得ながら地域の方々が参加しやすい上越内外へ発信する事業を行います。

上越の地域資源や様々な団体が常に連携していくことで、新たな上越の魅力として相乗効果を生み出すことが出来れば広域交通ネットワークを活かした来越者の増加や外貨獲得に繋がります。この上越がより発展していく為に、一過性でない継続的な交流人口、経済効果の増加に繋がる地域おこしと上越地域の産業を創造します。

委員会職務分掌＜事業内容＞

1. 他団体と連携し新たな地域資源の創造・発信
2. 6月担当例会の開催
3. 地域ブランドを根付かせる事業を実施
4. はすまつり（オクトーバー・フェスト）への参画
5. トライネットへ参画